

# 2019年3月期 上期

## 決算概要

---

テルモ株式会社  
常務執行役員  
北畠 一明

2018年11月8日

# 修正後のガイダンスに沿った進捗

(億円)

	17年度上期	18年度上期	増減率	為替除く 増減率
売上収益	2,846	2,850	+0%	+0%
売上総利益	1,554 (54.6%)	1,546 (54.2%)	-1%	-0%
一般管理費	814 (28.6%)	870 (30.5%)	+7%	+7%
研究開発費	183 ( 6.4%)	238 ( 8.3%)	+30%	+30%
その他収益費用	15	37	-	-
営業利益	572 (20.1%)	476 (16.7%)	-17%	-16%
<b>調整後営業利益</b>	648 (22.8%)	553 (19.4%)	-15%	-15%
税引前利益	568 (19.9%)	445 (15.6%)	-22%	
当期利益	412 (14.5%)	345 (12.1%)	-16%	

期中平均レート	USD	111円	110円
	EUR	126円	130円

- 売上収益 : ホスピタルや血液システムが心臓血管（公定価改定や出荷遅延の影響）をカバー
- 調整後営業利益 : 費用の進捗が遅かった前年同期と比べ、今期は計画通りの進捗
- 税引前利益 : 前年同期の為替差益（4億）に対し、今年度は差損（-28億）
- 当期利益 : 修正後ガイダンス通り

# 為替影響を除き、上期ガイダンスを上回る業績を確保

(億円)

	18年度 上期予想	18年度 上期実績	差額	為替影響除く 上期実績*	差額
売上収益	2,820	2,850	+30	2,832	+12
営業利益	480	476	-4	483	+3
調整後 営業利益	550	553	+3	558	+8
当期利益	345	345	0		

\*ガイダンス修正時におけるQ2以降の前提為替レート  
(USD : 105円、EUR : 130円)

# 調整後営業利益：調整額

(億円)

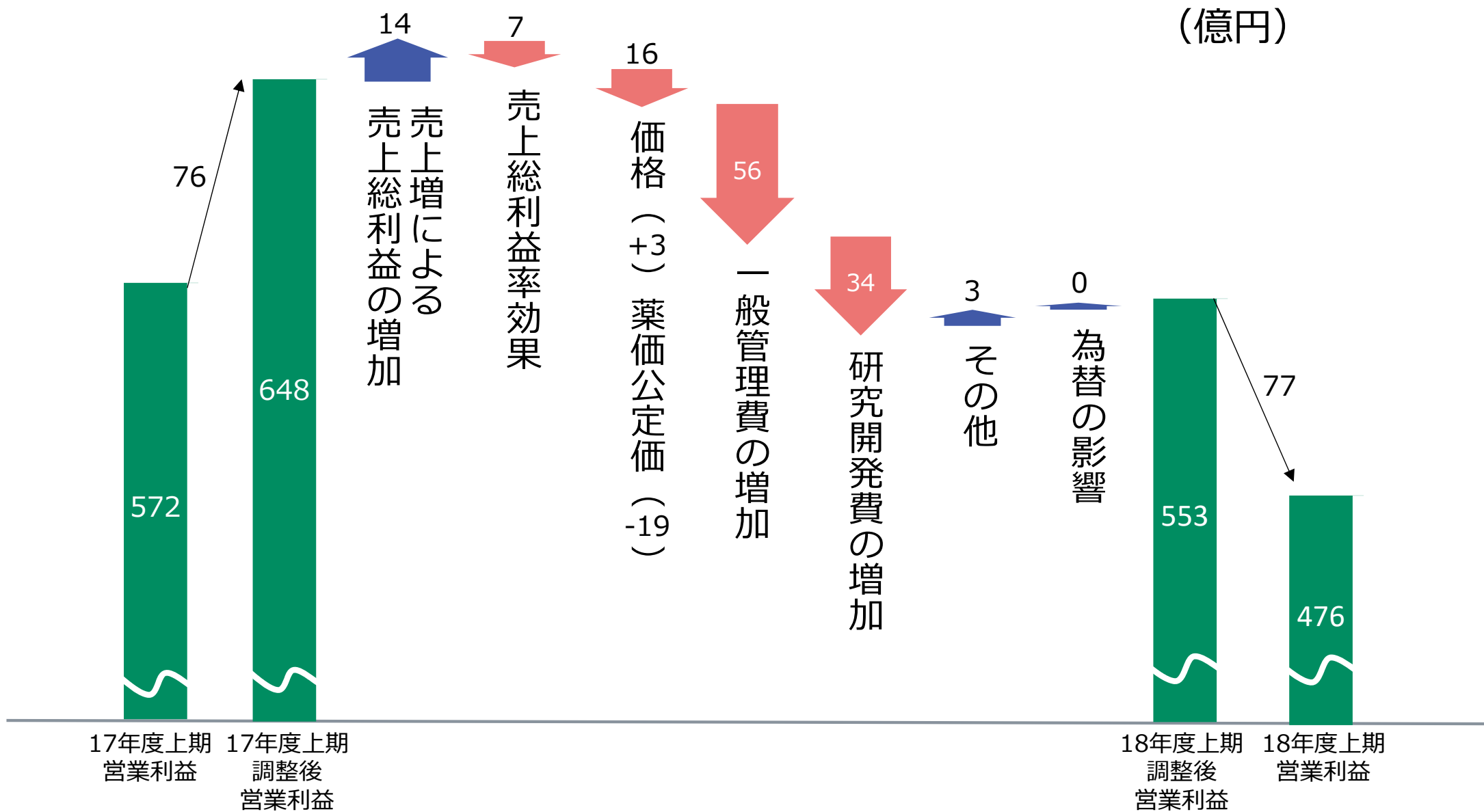
	17年度上期	18年度上期
①買収無形資産の償却費	71	75
②一時的な損益 ※	5	2
調整額	76	77

## ※調整項目

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整項目	調整額
ニューロWEB マイルストーン支払い引当計上 (-17)	+17
和解金受取 (+23)	-23
プエルトリコ工場災害保険金受取 (+11)	-11
ベンチャー開発投資除却 (-10)	+10

# 調整後営業利益増減分析 (IFRS)



# 地域別売上収益

■ 18年度上期  
■ 17年度上期

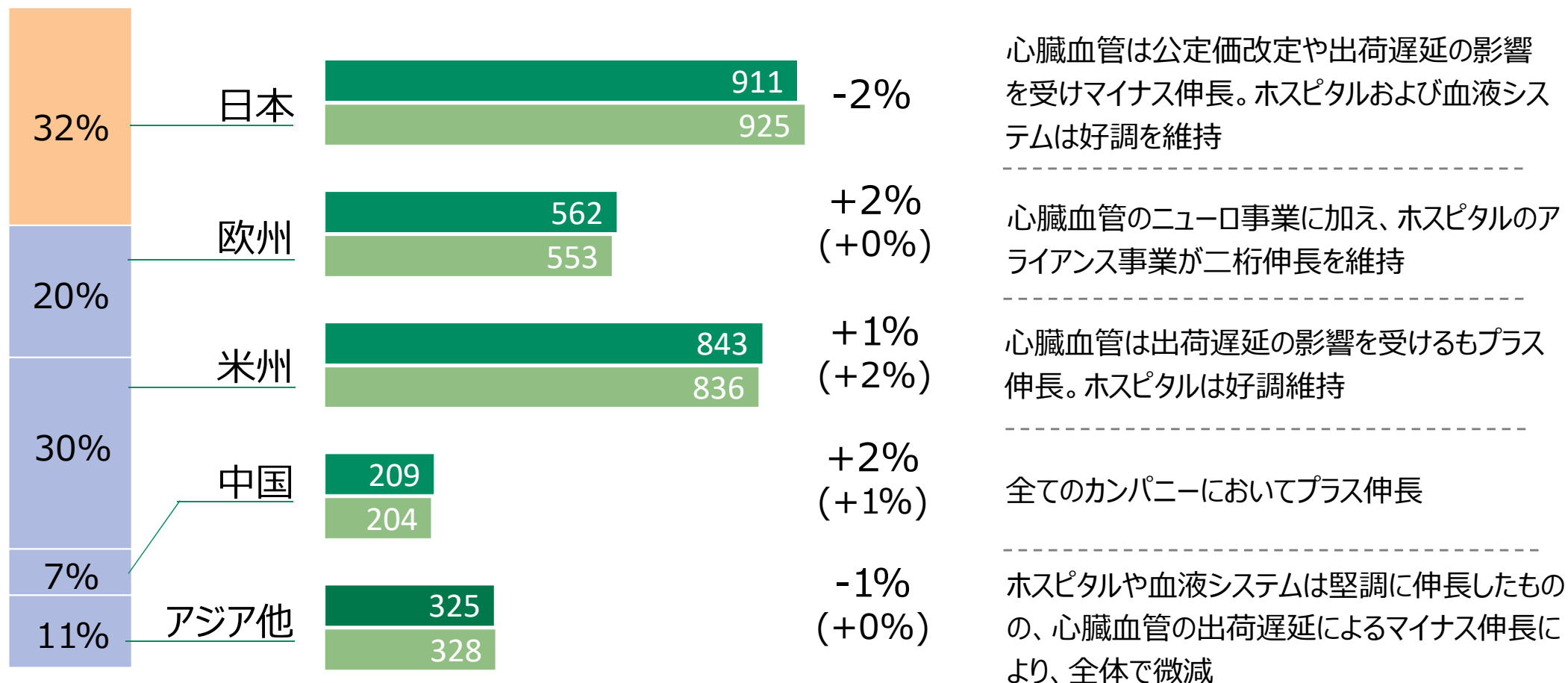
## 売上収益

100% = 2,850億円

## 売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
--------	-----	------

( ) 内は為替影響除く

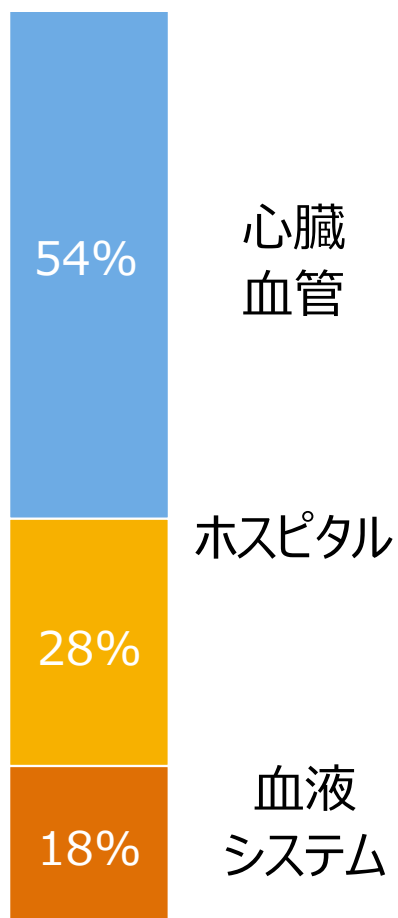


# カンパニー別売上収益

■ 18年度上期  
■ 17年度上期

## 売上収益

100% = 2,850億円



## 売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
( ) 内は為替影響除く		
心臓血管 1,535 (18年度上期) 1,576 (17年度上期)	-3% (-3%)	公定価改定に加え、出荷遅延の影響を受けマイナス伸長
ホスピタル 812 (18年度上期) 777 (17年度上期)	+5% (+5%)	全般的に堅調に推移。アライアンス事業はグローバルで2割以上の伸長
血液システム 502 (18年度上期) 492 (17年度上期)	+2% (+3%)	血液センター向け製品が堅調に推移

# 心臓血管：概ね修正後ガイダンス通り

(億円)

	17年度上期	18年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

( ) 内は為替影響除く

売上 収益	1,576	1,535	-3% (-3%)	TIS : 国内の公定価改定や出荷遅延の影響 に加えカーディオロジー治療製品が減少	-61
				ニューロ : 国内外ともに二桁伸長を継続	+17
				CV : 米国を中心に堅調に推移	+2
				血管 : ボルトン社買収の影響が一巡	+1

調整後 営業 利益 (率)	423 (27%)	345 (22%)	-18% (-18%)	減収の中、販管費をコントロールしているものの 研究開発費は計画通りに進捗	
------------------------	--------------	--------------	----------------	---	--



# ホスピタル： 堅調な増収増益を継続

(億円)

	17年度上期	18年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

( ) 内は為替影響除く

売上 収益	777	812	+5% (+5%)	医療器 ： 国内における輸液ラインや閉鎖式 抗がん剤投与システム等が牽引	+10
				医薬品 ： 輸液剤に加え、疼痛緩和や癒着 防止材が継続伸長	+8
				DM・ヘルスケア： 国内DM市場が若干縮小も想定線	-1
				アライアンス ： 国内外で好調。2割超の伸長継続	+20
調整後 営業 利益 (率)	137 (18%)	138 (17%)	+0% (-0%)	研究開発費増の中、好調な売上を受け増益確保	

# 血液システム：血液センター中心に堅調な増収継続

(億円)

	17年度上期	18年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

( ) 内は為替影響除く

売上  
収益

492

502

+2%  
(+3%)

血液センター：日本や米州において、血液  
自動製剤化装置などが牽引 +13  
アフレスリス治療：昨年度の特需の影響を受け  
マイナス伸長 -4

調整後  
営業  
利益  
(率)

78

70

-10%  
(-11%)

販管費および研究開発費の増加に伴い減益

(16%)

(14%)

# 主なトピックス

---

## 全社

- (CSR) テルモメディカルプラネックスにおいて、  
中学生向け「ジュニアメディカルチャレンジ」を開催 (8月)
- 働き方改革の一環として、BCPも兼ねたサテライトオフィスを府中に開設 (9月)

## 事業

- フェンタニル注射液「ヤンセン」の国内独占販売権を取得 (7月)
- アライアンス事業のPFS生産設備増設：テルモ山口D&Dで約70億円 (7月)
- テルモ山口D&D、欧州医薬品庁からPFS製造工場のGMP適合の認定取得 (7月)
- 中国合弁会社、腹膜透析液の製造販売承認を取得 (8月)
- 次世代人工肺「Capiox NX」、日米にて薬事承認取得 (米8月、日9月)

# 18年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス		日
心臓	PTCAバルーン		米
	PTCAバルーン		日欧亜
	DES (Ultimaster Tansei)	◎	日欧亜:済み
ペリ フェラル	ステント (TRI)	★	日米
	PTAバルーン (TRI)	★	米:済み 日:下期
	PTAガイドングシース (TRI)	★	米:済み 日:下期
	薬剤塗布バルーン	◎ ★	CE取得
脳	中間カテーテル (Sofia EX)		欧米
	ミニ・バルーン		欧米

領域	製品		地域
CV	次世代人工肺	◎	日・米
	次期・血液モニター		欧・米・亜 Q3予定
血管	胸部用ステントグラフト (低プロファイル)	★	欧:済み
	腹部用ステントグラフト (アナコンダ細径)		欧
医療器	静脈可視装置		日:済み
DM	パッチ式・インスリンポンプ		日:Q4
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア		欧米亜
	自動製剤化装置・新ディスポ		欧米亜

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

# 転換社債の状況

## ■ 社債明細 (2014年12月起債)

満期	発行額 (億円)	金利	転換価格 (円)	転換制限 価格 (円)	転換の場合 必要となる株数
2019年12月	500	0.0%	3,853	5,009	13.0百万株
2021年12月	500	0.0%	3,853	5,009	13.0百万株
計	1,000				25.9百万株

## ■ 転換状況 (2018年10月31日時点)

対象社債	転換行使額 (対象社債総額比)	交付株数 (発行済株式総数比)
2019年12月満期	483.0億円(96.60%)	12.5百万株(3.30%)
2021年12月満期	236.2億円(47.24%)	6.1百万株(1.61%)
計	719.2億円(71.92%)	18.7百万株(4.91%)

### ➤ 転換行使による株式交付は自己株式を充当

・自己株式の状況： 9.2百万株(2018年10月末時点、取得単価3,896円、発行済総数比2.4%)

# 参考資料

# 18年度上期 事業別・地域別売上収益と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	223 (-15%)	1,311 (+0%)	394 (-2%)	595 (+2%)	170 (+1%)	153 (-4%)	1,535 (-3%)
うちカテーテル※	168 (-17%)	1,053 (-1%)	313 (-1%)	456 (+0%)	158 (+1%)	125 (-7%)	1,221 (-3%)
ホスピタル	628 (+4%)	184 (+8%)	45 (+12%)	40 (+11%)	12 (+15%)	87 (+5%)	812 (+5%)
血液システム	58 (+8%)	444 (+2%)	123 (+4%)	208 (+0%)	26 (-1%)	85 (+4%)	502 (+3%)
合計	911 (-2%)	1,939 (+1%)	562 (+0%)	843 (+2%)	209 (+1%)	325 (+0%)	2,850 (+0%)

※ニューロバスキュラー事業含む  
( ) 内は為替影響除く前年比伸長率

# 販管費

(億円)

	17年度上期	18年度上期	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	411	433	+22	+5%	+5%
販促費	80	87	+7	+8%	+8%
物流費	61	66	+5	+8%	+8%
償却費	69	69	-0	-0%	+0%
その他	194	216	+22	+11%	+11%
一般管理費計	814 (28.6%)	870 (30.5%)	+56	+7%	+7%
研究開発費	183 (6.4%)	238 (8.3%)	+55	+30%	+30%
販管費合計	997 (35.0%)	1,107 (38.8%)	+110	+11%	+11%



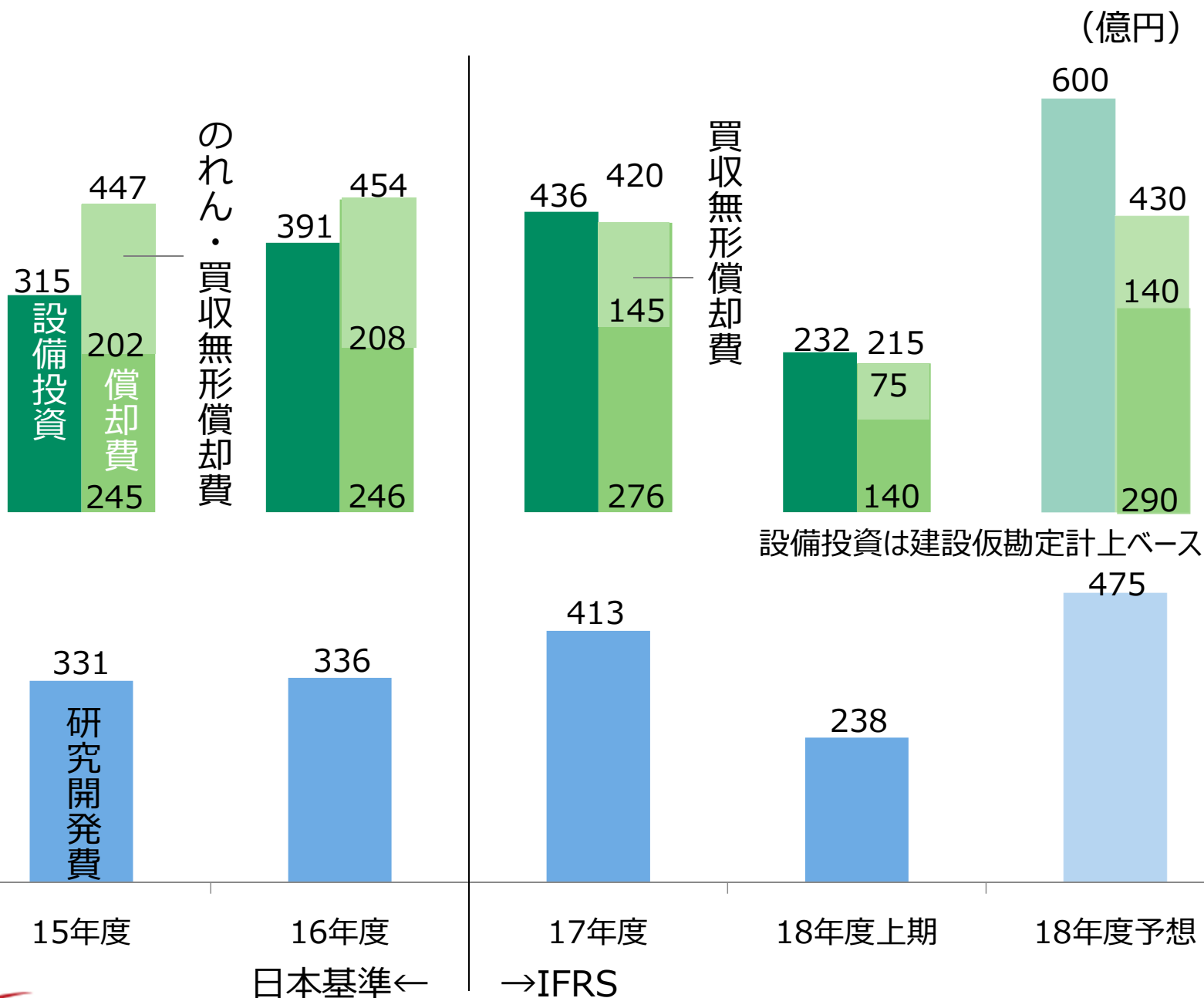
# 四半期の動き

(億円)

	17年度Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	18年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
売上収益	1,453	1,523	1,508	1,430	1,420
売上総利益	795 (54.7%)	832 (54.6%)	807 (53.5%)	799 (55.8%)	747 (52.6%)
一般管理費	412 (28.4%)	438 (28.7%)	459 (30.4%)	435 (30.4%)	435 (30.5%)
研究開発費	98 (6.7%)	107 (7.0%)	124 (8.2%)	113 (7.9%)	124 (8.8%)
その他収益費用	2	6	- 4	8	29
営業利益	287 (19.8%)	294 (19.3%)	220 (14.6%)	259 (18.1%)	217 (15.3%)
調整後営業利益	328 (22.6%)	327 (21.5%)	274 (18.1%)	305 (21.4%)	248 (17.4%)

四半期	USD	111円	113円	108円	109円	111円
平均レート	EUR	130円	133円	133円	130円	130円

# 設備投資と研究開発費

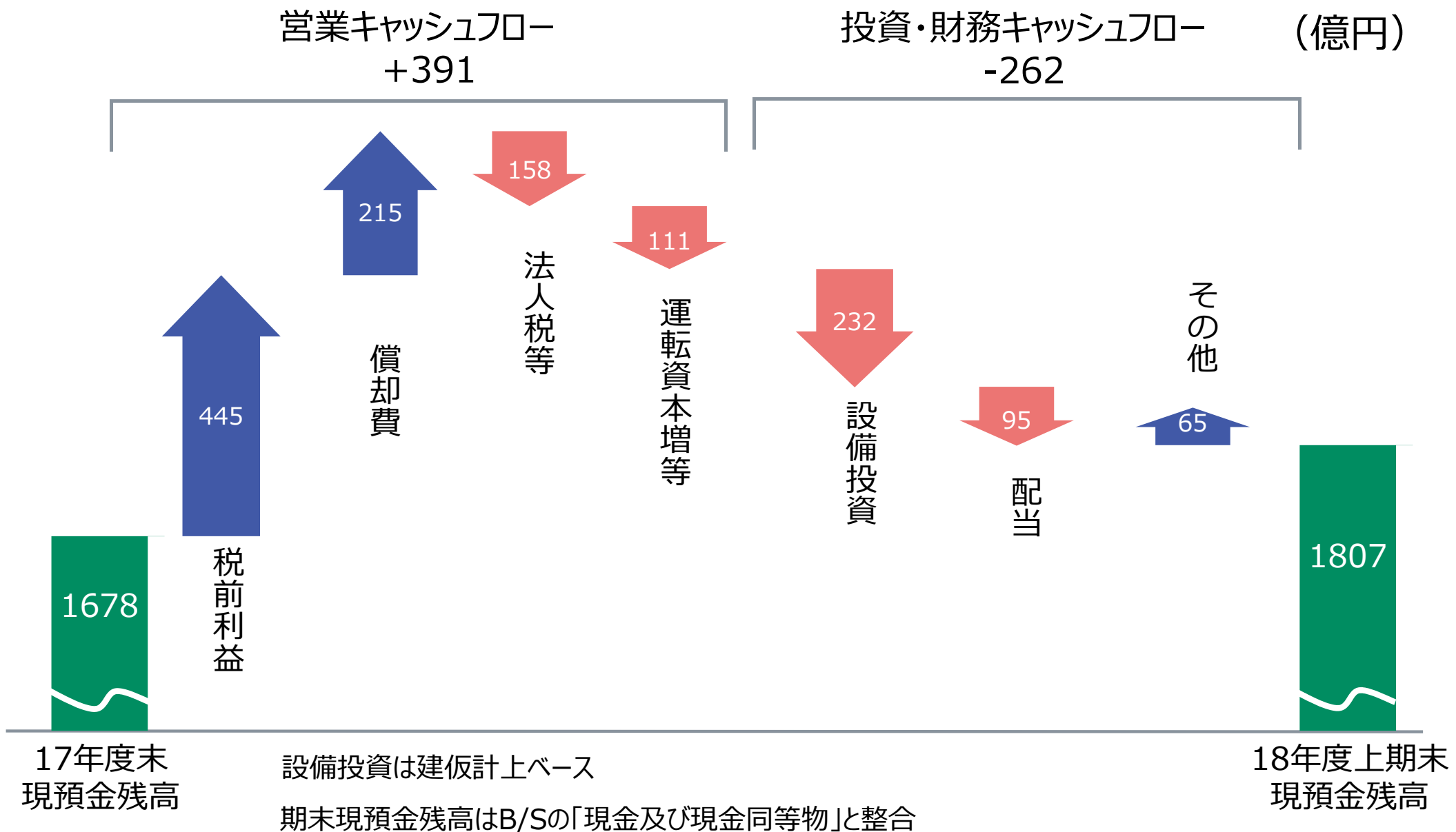


- 18年度は、増産設備、生産スペース、IT投資を拡大
- 17年度以降はIFRSベース
  - 買収以外の無形固定資産取得、開発費の資産化含む

- 主にカテーテル・ニューロ・血液の開発活動を促進
- 開発費の資産化は設備投資に含む

17年度 : 8億円  
 18年度上期 : 9億円  
 18年度予想 : 21億円

# キャッシュフロー



# 為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額 (億円)

	USD	EUR	人民元
売上収益	16	8	20
調整後営業利益	0	5	10

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	人民元	その他
調整後営業利益	-1	9	60	13	17	33

# おことわり

---

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。